



LIBRARIES

UNIVERSITY OF WISCONSIN-MADISON

Koto wa jōkan katoku no shita = [Illustrations of Japanese tales]. [v.1] 1730?

Nishikawa, Sukenobu, 1671-1751

[Japan]: s.n., 1730?

<https://digital.library.wisc.edu/1711.dl/4HUAKCMJMNJX78E>

<http://rightsstatements.org/vocab/NoC-US/1.0/>

For information on re-use see:

<http://digital.library.wisc.edu/1711.dl/Copyright>

The libraries provide public access to a wide range of material, including online exhibits, digitized collections, archival finding aids, our catalog, online articles, and a growing range of materials in many media.

When possible, we provide rights information in catalog records, finding aids, and other metadata that accompanies collections or items. However, it is always the user's obligation to evaluate copyright and rights issues in light of their own use.





Suhewbn-ut 1730 shows. uow
S/Voa
art



幸ハ上巻花徳の
下ニ入リ
逍遙院公

花
さ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ



菊の境迄なる

酒を飲ぶ風情

花嫁の風情

嫌つゝおもむく人

能女の変な人

去後

閑なる所入り

志忠い難

いざと女中の心

おれと女中の心

落しとくも非ず

但孤舟に知る人

物よを縁

心かす次

住候なるを

恥いしとあり人

人小似たる

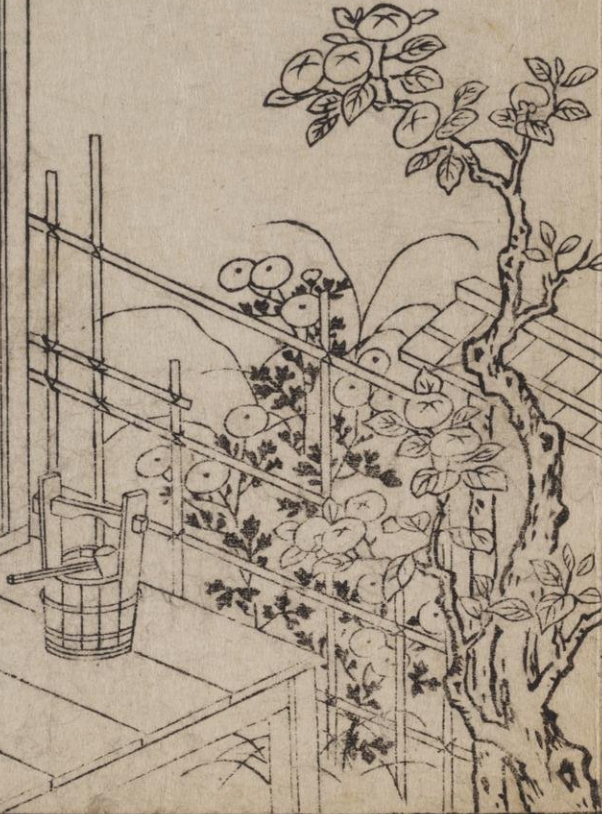
赤心尋る人

霜よ映る人

美人の

人成恨めて

身を捨てる人



萩を遊覧する

萩を遊覧する

又命りきて

萩を遊覧する

萩を遊覧する

萩乃り外

萩乃り外

あれた萩るよの唱

萩乃り外

萩乃り外

萩乃り外

萩乃り外

萩乃り外

萩乃り外

萩乃り外

萩乃り外

萩乃り外

萩乃り外



抄津國
兵庫の海

あつてのやまら
あり大相公平に
そく西の
入船多く
はもとあつて
はもとあつて



そして
是と和田傍と
後世乃と
なりあり

尼み義久

と波寺の
清といふ
はもとあつて

あけあぢ
せん
凡そ



燕紫花



萩
えぎ



八月のちつとくを執り
 うまのけいせんを
 長目みつめにふんふんしり

冬房ふゆぶ

しる月つきのこゑ

しるし

ゆきゆきん

うがうが大若おほわかめ

しるし

ゆきゆき

台篋の籠の奉
 乃時之月中向
 九月の月つ
 みへの
 流大名より
 つろくの籠
 れをよやく
 とまらり
 一と庶人
 ありて
 そろり
 うり
 んり

貞徳
 維舟

女中
 めい
 めい

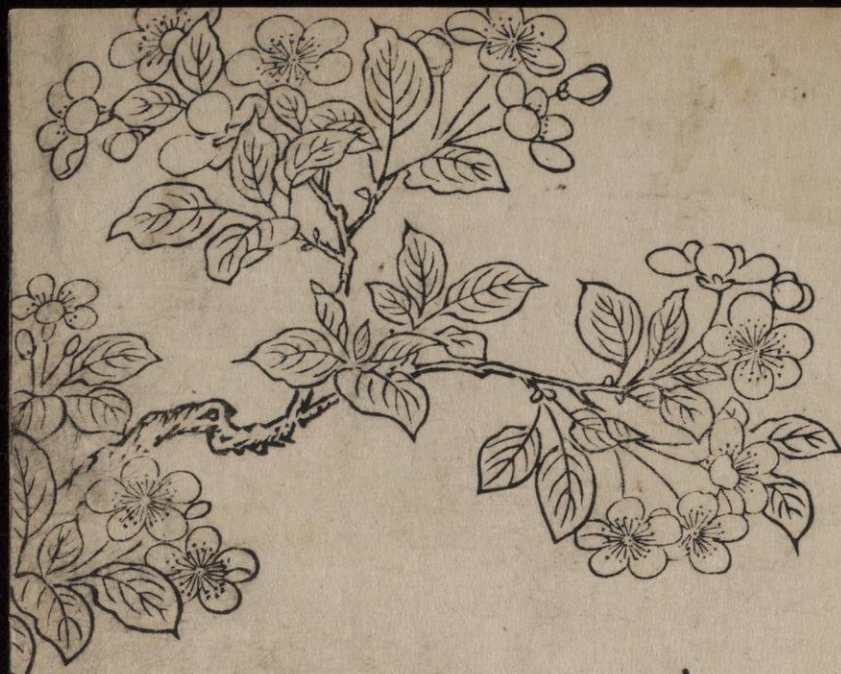
花
 めい
 めい

花

花

花





梨木 あじのこ

紅梅



暁曙かのく
のりをふ

油煙奇

百人一首に

どうあり

とて

え日の

あつき

く

うたりの

そ

十万も

来山

え日や

えんが

神の川の

あふの





どぶく調子どれ
 清文を月ちて陽春
 白雲の曲にまじり
 らくらく

戸田氏

郷磨

謝とほり

のりしきつら

ヤ
 柳



おけしとらふ
 大さねほそく
 ちきとそ
 前替おけし
 んん

芭蕉翁

おけし
 ちき
 ちき
 ちき
 ちき
 ちき



おけしとらふ
 口端あるそん

おけしとらふ
 南行法師
 魂瓜清氏

おけしとらふ
 ちき
 ちき
 ちき
 ちき
 ちき



女薔薇 ちやうちやう
い



女薔薇 ちやうちやう
い



梨の花を

娘はほよませ

本家の側よ

侍る

妻もや

ついで

お懐抱

やや

お氣

お遣ふ

心をくさし

心氣の借

よ

顔

青

お氣

お遣ふ

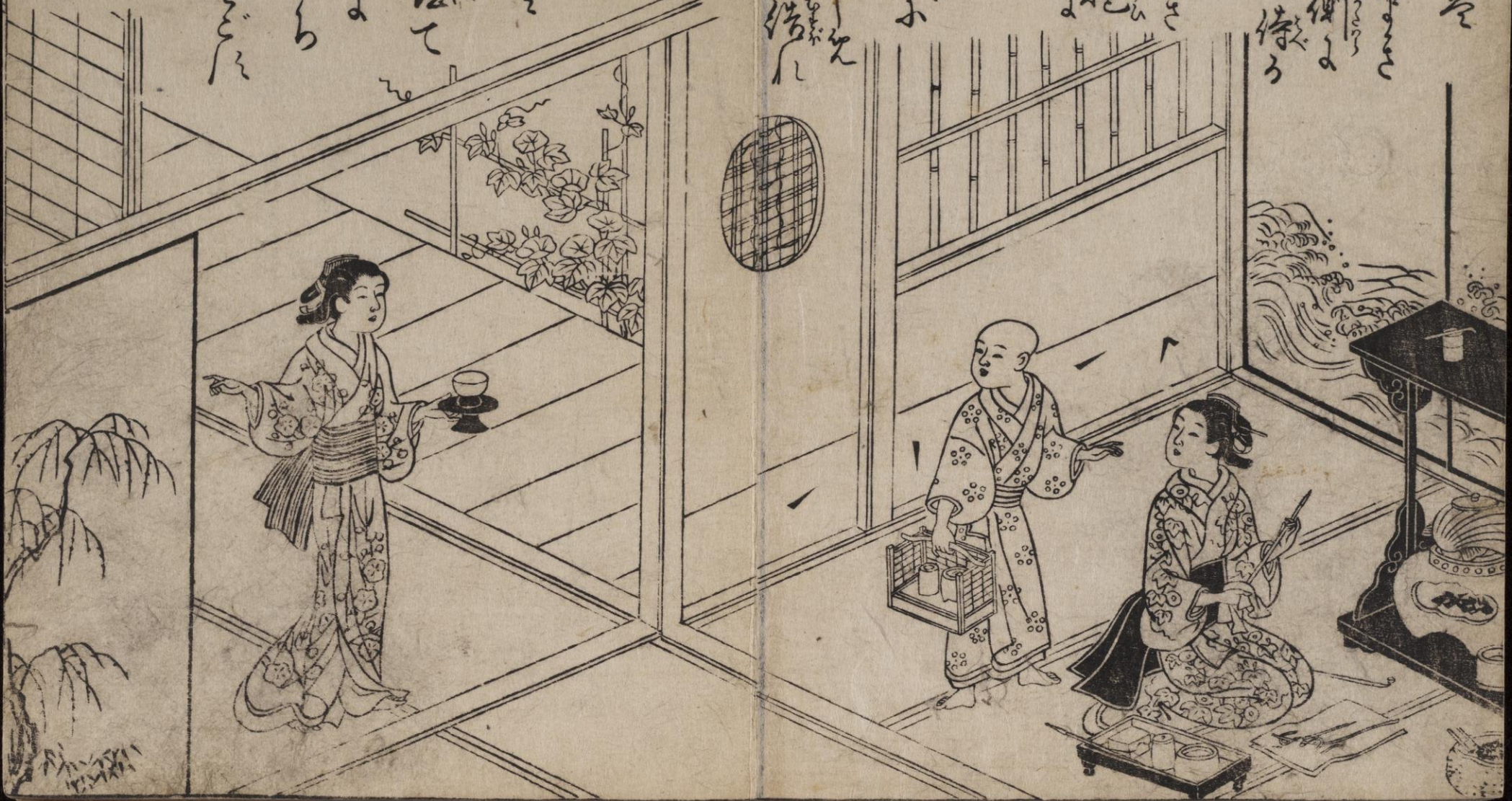
人の

しら

世

あり

お



長春薔薇の

紅白一室
二室

暖丸

之

舞

始終の方

な

賣久

之

う

多

毛娘

柿巻

さ

四

振

詠

糸

終

か

好

唐

世

後



それ雪の豊年の
負といふをうてた
ゆふとてん

雪あーうい雪せんい
ぬい程のむの徳

雪ふりてゆき年五穀
このゆりゆりやと

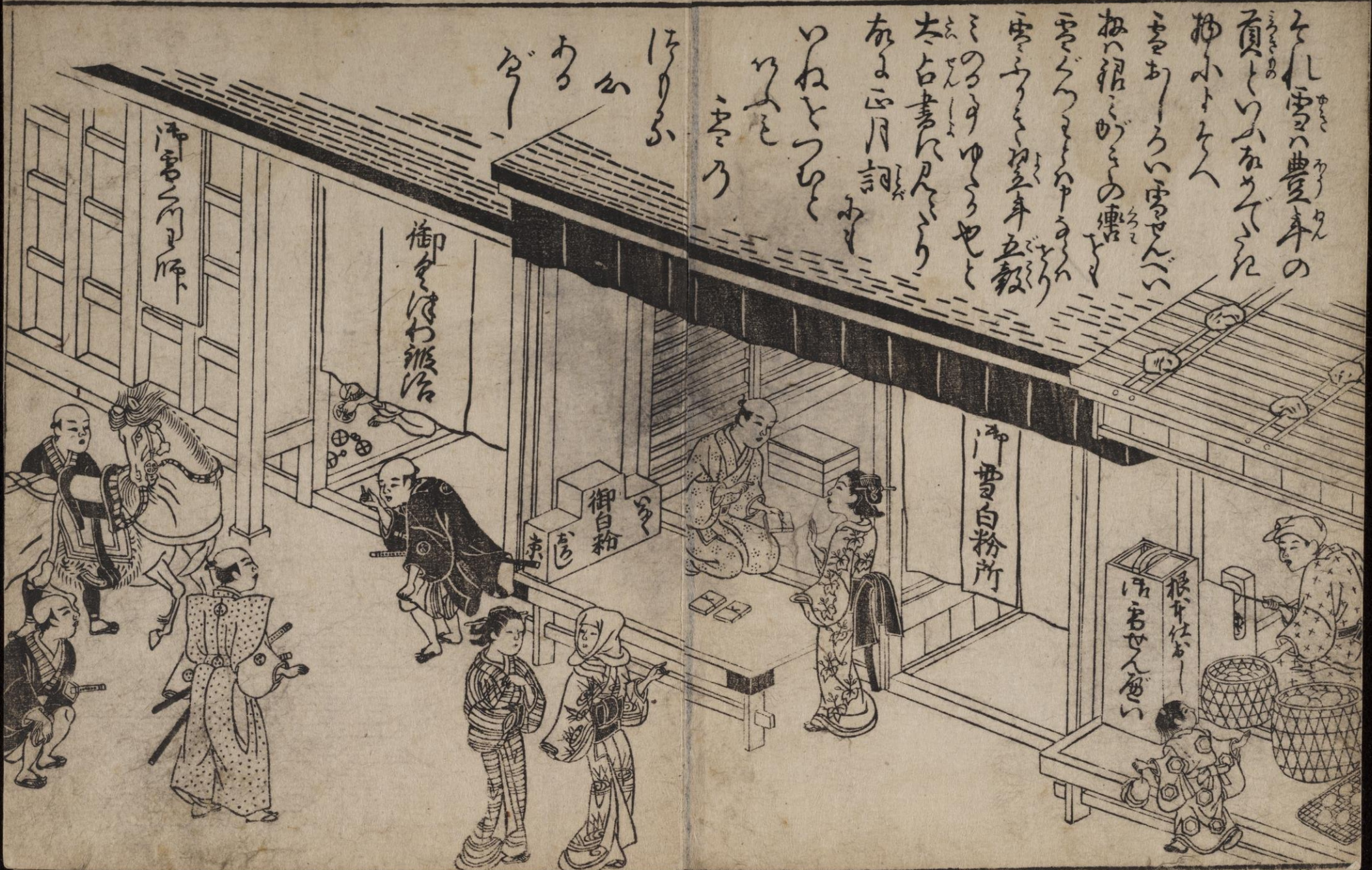
太占書にんんり
あま正月詞

ゆねとつゆ
ゆき

ゆき
あま

ゆき

あま
ゆき



御書

御書

御書

御白粉所

御書

寒菊



蘭



らまつこのまゆと
 子々青窓録り
 合鼻交々おれ
 うれやをり

由煙齋
 貞隆

らまがりされ
 丈ぬぐ中の
 のめろり
 らざりて膳み

とまの
 松山



その里り
 せごごば
 ありありと
 ぶねつちま
 ぶねをほき
 物とて
 けいけい
 とつるり

西鶴

とららてんの
 ありありと
 らん
 町



様棠花の

あやうや

三ふ十六れ

少女のあやうや

いふふ

眉目優

鼻筋

とあり

首筋

はま

言ニ奇癖に

美ト

ん世終や

流石深きよ

育ね

情ふ跡々し

余うけ

てと

思つらう

婦人乃

本意

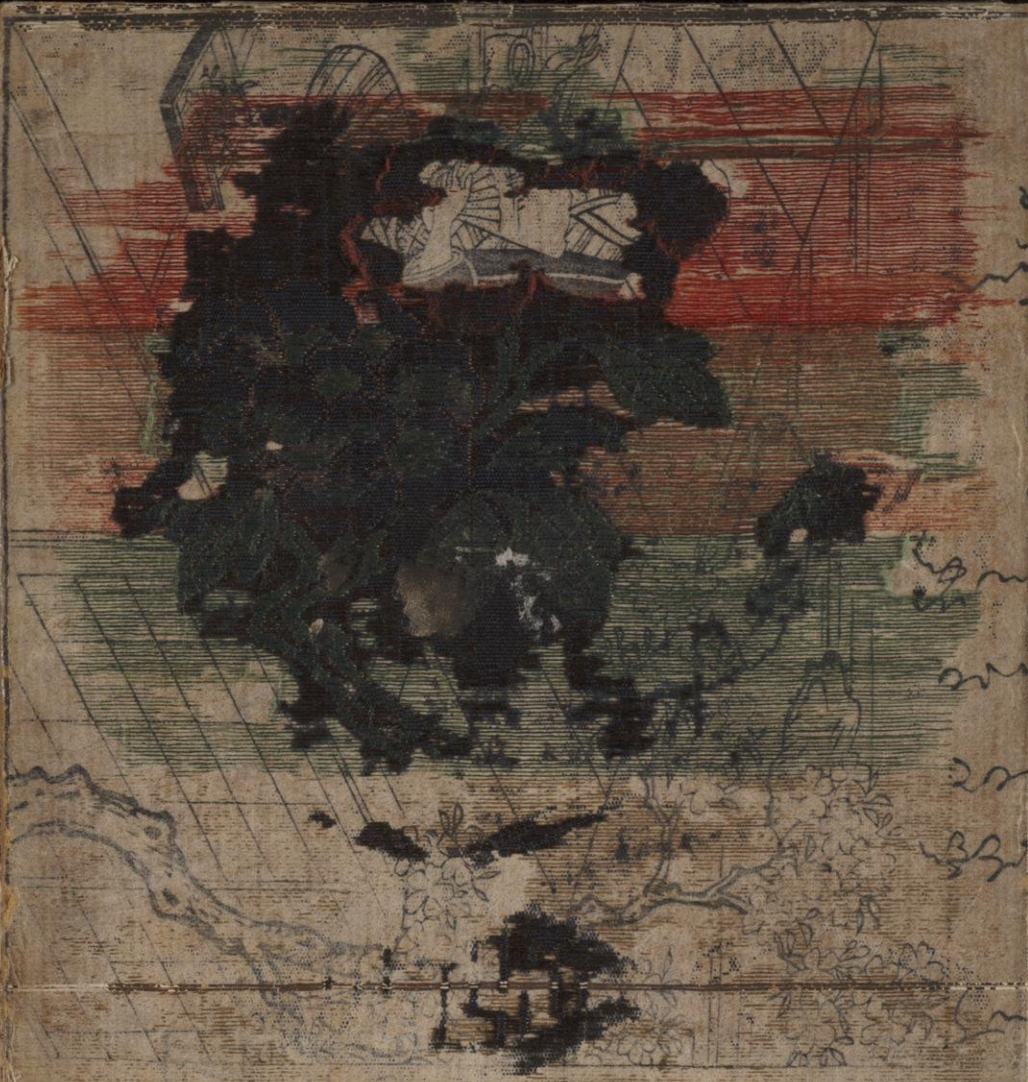
いふ



三三三

女帝花...
 奇異の...
 唱れ...
 冷...
 遍照...
 名...
 係...
 己...
 り...
 姓...





播磨の松
松林の図
松林の図

